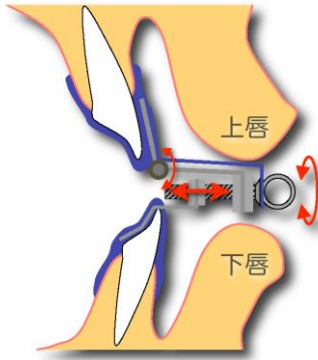


タイトル		
気道確保装置及びそれに使用する無段階調節装置 ※JST特許出願支援制度に採択		
技術分野	利用分野・適用可能分野	情報メモ
<input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input checked="" type="checkbox"/> 医療 <input type="checkbox"/> 化学・薬品 <input type="checkbox"/> その他()	医療分野(睡眠時無呼吸症候群、イビキ症など)	別紙資料: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 サンプル: <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見学: <input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 その他:
提供特許情報(出願番号等/出願日/出願人)		関連特許番号
国際公開番号:WO 2006/070805 PCT出願番号:PCT/JP2005/023903 PCT出願日:2005年12月27日 発明の名称:気道確保装置及びそれに使用する無段階調節装置 出願人:学校法人久留米大学		日本移行出願:特願2006-550799 米国移行出願:11/793,766 欧州移行出願:05822848.7 中国移行出願:200580045106.2 韓国移行出願:10-2007-7017162
目的・効果・特徴		
【目的】 軽度の睡眠時の無呼吸症候群の治療及びいびき防止に有効かつ高精度な、治療もしくは防止機材を提供する。		
【効果・特徴】 1)睡眠時の無呼吸症候群に特徴的な、軌道の閉塞・狭窄に対して、簡便かつ高精度に効果を及ぼす。気道を閉塞・狭窄を防ぐことができる。 2)従来の防止器具は、固定式であり、個人的差に対応するためテーラーメイドで製作され、装着に不具合が生じた場合には修正できないが、本製品は気道確保に際して、状況にフレキシブルに対応でき、微調整も可能で、適応者個人毎に最適な気道確保機器が提供される。 3)患者の体調や顎・歯の変化等にも容易に対応可能で調整しての使用が出来る。 4)調整は連続的に可能であり、微調整ができることから患者に対して、精密且つ有効な治療・防止器具となる。患者自身の個人的状況の変化に容易に対応することができる。 5)従来品に比較し装着・脱着が容易であり、違和感も緩和される。		
技術概要		
従来の気道確保を行うマウスピースにおいては、上下顎一体の構造にて下顎の牽引固定を行っていたが、下顎の位置調整が不可能であった。また、調節機能のあるものでも口腔内で調節部が大きかつ、段階的調節であり、装着感、使用感に劣るものであり、また、精密な位置調整がなされない。 本発明における機材では、上下の顎で独立したマウスピースに薄型かつ小型の調整部分(ねじによる立体的な位置調整)を設け、3次的に下顎の位置の微細且つ精密な調整を可能とした。これにより装着時の違和感も軽減することができる。 従来のいびき防止等のマウスピースでは、二次元的な位置調整しかできず、かつ段階的(連続的ではない)な位置調整しかできなかった。また装着時の違和感が大きいものであった。		
図・特記事項・その他		
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>調節装置の模式図</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>		